

新潟県薬剤師会 薬剤師ボランティア活動報告書

班名	班	報告日	平成 23 年 6 月 7 日
報告者氏名	小田 亜紀子	同行者氏名	
活動期間	3 月 29 日 ~ 4 月 4 日	宿泊場所	いわき市競輪場 宿舎
活動拠点	いわき市医師会	ジャンプファへの掲載	掲載してもよい・掲載を希望しない
交通手段	自家用車		
主な活動 (簡潔に)	JMAT に同行し、各避難所において調剤しました。		

<活動の内容>

(活動内容以外にも感想や気づいた点等、ご自由に記載してください。スペースが足りない場合は別紙にご記載ください。)

JMAT のチームとしては、多い日で 9 チーム位あります。薬剤師が同行しているチームは 1 チームのみでした。その他は、ボランティア薬剤師でまかなう状況です。土日は薬剤師も人数が少なくて 1 チームあたり 1~2 名入れますが、平日は薬剤師 1 名で薬剤師のいないチームもありました。慢性的な人員不足です。

また、1 チームに Dr は 2~4 名いらしゃいます。避難所へ行くと、あちこちで Dr に呼ばれる状況です。そして、持っているお薬の種類や、Dr の欲い、お薬の代替品の情報などが口答でしか答えられず、答えられずなりません。あまり、一人一人に声をかける時間はとれませんでした。

今回おかげでいわき市は医師会、薬剤師会(いわき市の)が独自に薬品調達、人員手配をやらせてくれたので、うまくいった方だと思います。ただ、薬品庫は、任分けする人がおらず、散乱状態です。各地域で差があると思います。

また、原発から 30km 圏内に入る事もありました。不思議と原発の怖さは全く感じませんでした。緊急でも入る事を警察に止められたい事ともあったと聞きました。行政との連携がいかにとれていなかったようです。

4 月になると、やっという病院もふえて、受診するようにすすめる事ができるようになりました。津波、地震、原発、風評被害の中、頑張られている姿に私自身も元気をいただきました。

今回は、参加させていただきありがとうございます。